

日本顕微鏡学会 ソフトマテリアル分科会 2025 年度第 1 回講演会のご案内

拝啓 時下、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、このたびソフトマテリアル分科会では、**2025 年度 第 1 回講演会**を下記の通り開催いたします。昨年度は、「ソフトマテリアル向けの最新の局所構造解析」および「ソフトマテリアル研究における SEM とクライオ電顕の応用」をテーマに、2 回の講演会を開催し、多くの皆様にご参加いただきました。

本年度第 1 回目となる今回は、「高分子結晶を観る」をテーマに掲げ、当該分野でご活躍中の研究者・技術者の方々をお招きし、ご講演いただきます。ソフトマテリアルにおける構造と機能の理解を深める好機となれば幸いです。

また、講演会終了後の **15 時 30 分**より、「**ラウンドロビンテスト円卓会議**」を開催いたします。ご関心をお持ちの皆様の積極的なご参加をお待ち申し上げます。

研究会テーマ：「高分子結晶を観る」

主 催： 公益社団法人 日本顕微鏡学会 ソフトマテリアル分科会

責 任 者： 東北大学 多元物質科学研究所 陣内 浩司

開 催 日 時： 令和 7 年 7 月 24 日(木) 10:00 – 15:10

場 所： 東北大学 東京分室

(100-0005 東京都千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー 10F)

<https://www.bureau.tohoku.ac.jp/somu/tokyo/access.html>

開 催 方 法： 現地対面開催

参 加 費： 会員：3,000 円 非会員：5,000 円 学生：無料

申 込 方 法： 2025 年 7 月 11 日(金)まで、下記申込フォームよりお申込みください。

<https://forms.gle/bhkw3EL1u51Rc95TA>

クレジット決済： メールリンク方式にて、クレジット決済が可能となりました。

ご希望の参加申込フォームにてクレジット決済希望にチェックをお願いいたします。個別に、メールにて決済のための URL をお送り致します。メールの送信には 1 週間程度お時間をいただく場合がございます。1 週間経ってもメールが届かない場合はご連絡ください。

参加費振込先： ゆうちょ銀行【店名】〇一八（読み ゼロイチハチ）【店番】018

【預金種目】普通預金 【口座番号】9922872

【口座名義】シャ）ニホンケンビキョウガツカイ

2025 年 7 月 18 日(金)までにお振込ください。

押印した請求書が必要な場合は、参加フォームにその旨記載願います。

インボイス制度の開始に伴い、領収書の発行は当日会場での配布とさせていただきます。領収書の宛名、内訳、但書等についての要望は、申込フォームによりご連絡ください。

プログラム（敬称略）

10:00-10:10 挨拶

10:10-11:10 チュートリアル講演 1

「高分子結晶の顕微鏡観察」

広島大学 戸田 昭彦

11:10-11:40 「TEM を使った高分子結晶の観察 – 高強度繊維での事例 –」

共立女子大学 村瀬 浩貴

11:40-12:10 「光学顕微鏡でのイメージング(仮)」

九州大学 奥村 泰志

12:10-13:30 休憩

13:30-14:30 チュートリアル講演 2

「〇〇と超高压電子顕微鏡は使いよう – 戦艦大和は甦るか」

名古屋大学 武藤 俊介

14:30-15:00 「結晶性高分子の AFM ナノメカニクス – 非晶部に焦点を当てて –」

東京科学大学 中嶋 健

15:00-15:10 挨拶

15:10-15:30 休憩

15:30-17:30 ラウンドロビンテスト 円卓会議

【問い合わせ】

事務局:東北大学 多元物質科学研究所 陣内研究室 小林

TEL: 022-217-5329

E-mail: sachiko.kobayashi.c8@tohoku.ac.jp

ラウンドロビンテスト円卓会議について

当分科会では、2022 年度よりラウンドロビンテスト（以下、RRT）を開始しました。この企画を立ち上げた背景には、ソフトマテリアルの研究に新しく関わり始めた方々が形態観察を試みた際に、生物系試料では先達の知見を参照して試料作製をトレースできることが多い一方で、材料系試料では前処理の方法や条件に関する情報の入手が難しいという課題があります。では、なぜ詳細な方法や条件が明記されていないのでしょうか？方法や条件が明らかであればトレースできるのでしょうか？この問いを考察し、検証するために RRT の参加を呼びかけました。

初回は自動車用バンパー材のペレットを共通試料として、初級者から熟練者まで各研究機関や企業の研究者数十名に配布し、それぞれが自身の方法で試料を調製し、その観察結果を円卓会議で共有しました。現在、共通試料第 2 弾として ABS が進行中です。

これまでに RRT に参加されていない方でも、興味をお持ちの方はこの円卓会議にご参加いただけます。講演会に参加される方であれば、RRT 円卓会議への新たな申し込みは必要ありません。皆様のご参加をお待ちしております。

今回の論点は、前回確認された「未染色で凍結薄切が難しい」について、参加者の皆様から提供された複数の画像および前処理条件を比較しながら議論したいと思います。（補足：ABS は染色操作の初心者向け実習で多用される試料で、染色も薄切も観察も容易なはずですが、未染色だとうまく薄切できないという課題について議論します。）

共通試料第 3 弾は現時点で確約できませんが、準備ができれば配布したいと考えています。

【問い合わせ】

東北大学 多元物質科学研究所 陣内研究室 小林(sachiko.kobayashi.c8@tohoku.ac.jp)